

# 令和4年度 保険福祉部運営方針

部局名 : 保険福祉部

部局長名 : 松下 良

## 基本方針（政策目標）

人と人とのつながりが希薄化する中、長期化する新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、一層深刻になっている孤独・孤立の問題に対応するための策を講じます。また、新たな視点も取り入れつつ、継続して求められる各種の福祉施策や保険事業等を安定的かつ適切に実施することにより、生活困窮者、高齢者、障がい者はもとより、誰もがすこやかにいきいきと暮らしていけるように、以下の主要事業に取り組んでまいります。

- ① コロナ禍で、顕在化・深刻化している孤独・孤立の問題を解消するため、官民連携によるオール泉大津での取り組みとして、民間ノウハウを活用した新たな居場所づくりを進めるとともに、従来から様々な分野で実施している施策を整理した新しい冊子やポータルサイトを作成し、施策や事業の見える化を進め、生活困窮者への支援策も含め、個々の課題に応じたサービスにつながりやすくすることで課題の解決を図ります。
- ② 健康寿命の延伸に向け、あしゆびの運動を含む身体のバランス調整機能の向上への取り組みや認知症の早期発見・対応を目的とした「もの忘れ検診」の実施など、介護予防・重度化防止を推進するとともに、寝たきり高齢者等の尊厳の保持、生活衛生の向上を図るため「訪問理美容サービス利用助成事業」を開始します。また、地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの進化・推進を図るとともに、介護保険事業における介護給付の適正化をより一層推進します。
- ③ 障がい者総合支援法等に基づき、個々のニーズに応じた適正な障がい福祉サービス等を提供することにより、障がい者や障がい児が地域社会の一員として人権が尊重され、自己選択と自己決定のもとで、日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援します。また、誰もが地域で支えあいながら安心して暮ら

せる地域社会を実現していく一環として、手話言語条例を制定します。

- ④ 生活保護制度の周知に努めるとともに、生活保護の医療費適正化、被保護者に対する就労支援等により、生活保護の適正な実施と自立に向けた支援を推進します。
- ⑤ コールセンターを開設し、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の口座振替を勧奨し、納付もれや納付遅れを防ぐことで、保険料の公平・公正な負担の実現を図ります。また、大阪府の健活サポートアプリ「アスマイル」に泉大津市独自ポイントを設定し健康力の向上を図ります。